

憲法を生かし、中小商工業の力で循環型経済・社会を

HP・メールニュース〈No.5〉

2013年7月31日

異常気象と災害が列島各地で相次いでいます。山形にも新潟、福島、宮城など近県から迅速に緊急支援が行われ被災者を激励しましたが、「安心・安全なまちづくり」が切実です。その原因である地球温暖化問題にどう取り組むかについては、パネルB「再生可能エネルギーによる循環型地域づくり」に関連した議論が行われます。また、分科会2「地域建設業の課題と仕事おこし」では、「耐震化や老朽化する社会資本の整備、環境問題への対応」の問題を正面にすえての討論がされる予定です。

そして、分科会3では「持続可能なまちづくりと地域商業の課題」をテーマに小売商業と物流の側面からまちづくりの問題がとりあげられます。いずれの分科会でも今日的熱いテーマがとりあげられます。

地方議員や自治体関係者、PNOなど運動団体のみなさんにも参加呼びかけを強めてみましょう。

☆コンテンツ☆

- ・第4 商店街の再生をどうはかるか
- ・第10分科会 女性の起業をどう支援するか

◇第3分科会 持続可能なまちづくりと地域商業の課題

助言者 足立基浩・和歌山大学教授

地方都市の中心市街地の商店街区はシャッター通りが増え、空き店舗率も50%を超える通りも目立ち、「買物難民」が社会問題になっています。

足立先生は、この原因について ①(その結果)中心市街地の個人商業は資本力が弱く、全国資本のチェーン店に比べ品揃えが悪い傾向にある(資本力の問題)。



②この様な状況にもかかわらず、1998年から2000年にかけて土地の規制緩和(大規模小売店舗立地法の導入)がなされ郊外型大型小売店舗の立地が容易になった(法律の問題)。

③その結果、大型店の強力な資本力に裏づけされた「豊富な品揃え」に圧倒された中心市街地の商店街は衰退度を加速させた、と整理されています。

そうであれば、再生のためには、商業主・地権者の「インセンティブ(=やる気)」、「資本力の充実」(「(そのための)制度づくり」)について再考することがシャッター通りの現状を改善することになるはずです。

中心市街地の土地には若い経営者があふれ、商店街は現代的な商品ニーズをうまく捉え、

その結果品揃えは豊富で、歩いて楽しめるまちづくりに成功しているイギリスの例も学び、日本での商店街再生に何が必要か、ともに考える分科会です。

被災地の復興の問題を考える上でも大いに参加になるはずですよ。

◇第10分科会 女性経営者

助言者 川名和美・高千穂大学教授

いま、女性の起業に期待が高まっています。欧米では女性の起業が活発です。昨年からは国の金融機関である日本政策投資銀行が女性向けのビジネスプランコンペを始めました。



少子高齢社会対策としても、これまでに十分力を発揮できなかった女性の力が不可欠といわれています。また地域社会の中で、女性の働く場を、仕事を、雇用を創っていくことは、よりよい生活のできる地域を形成していく上では極めて重要です。

しかし、そのためには環境整備や支援施策が求められます。①女性経営者、創業者の学習する機会を作るにはどうしたらいいか。人的ネットワークや異業種、異業界との積極的な学びの場をどう作っていくか。②女性経営者の強みを発揮していくにはどうしたらいいか、など、女性経営者の経験や体験も交流しながら、深めます。

***** 《参加申し込みについて》 *****

1、日時・開催場所

第1日：9月7日（土）12：00～〔会場：岡山市民会館・大ホール〕

【全体会】基調報告／講演・三井逸友・嘉悦大学教授／特別報告

【パネルディスカッション】【憲法講座】15：00～18：00

A：新しい地域創造への挑戦—憲章・地域振興条例を力に—

B：実践・再生可能エネルギーによる循環型地域づくり

C：いま、輝く地域密着の家族経営

講座「憲法を考える」

参加者交流会（サン・ピーチOKAYAMA）18：30～参加費：5000円

第2日：9月8日（日）

9：00～15：00【分科会】14分科会〔岡山大学津島北キャンパス・文法経済学部棟〕

2、参加費 2日間：10,000円、学生・院生3,000円

問合せ・参加申込は民商・全商連まで

参加申込用紙・リーフレットをお送りします。参加費を添えて8月25日（木）までに実行委員会に申し込んでください。

全商連 ☎03-3987-4391／宿泊希望は、シモデンツーリスト ☎086-224-8811

第18回中小商工業全国交流・研究集会